

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します

5分の説明で踊れるレクダンス（レクリエーションダンス）があります。レクダンスは、だれでも簡単に踊れるダンスです。振り付けも、好みの曲や流行歌、創作の曲などに合わせて自由にできるので、さまざまな世代からたいへん重宝されています。先日、私たちは生演奏で踊る機会があり、そのときのダンスは格別に盛り上がりしました。

ジャンルはさまざまで、童謡から民謡、社交ダンスやジャズダンス風などで、一人で踊るものをはじめ、カップルダンス、集団ダンスなどがあります。健康づくりやコミュニケーションシヨンづくり、ボランティア活動にと、さまざまな分野で役に立っています。

総社分館には、レクリエーションダンスの講座があります。大人を対象に、毎月第3火曜日と第4水曜日の午後7時から、



総社分館で生演奏に合わせて踊る講座生

公認指導者がボランティアで指導しています。興味のある人は、のぞいてみてください。

（土井脇典子さん・三輪）

少し前の話ですが、4月25日、さすがしい晴天の日に、阿曾小学校恒例の阿曾っ子による鬼ノ城登山（春の遠足）が行われました。新

1年生17人を含めて6年生までの全校生徒134人の児童が参加しました。

学校を出発し、オリエンテーリング風に標識や矢印



低学年の児童を背負って登る高学年の姿も

に従い、鬼ノ城を目指しました。奥坂地区を通り、鬼ノ城西門までの約10kmを元気よく歩きました。高学年が疲れた低学年の手をつなぎ、ときには背負って登ります。リュックサックを高学年が最後に背負い、高学年は低学年を思い、低学年は高学年を頼りにします。お互いに絆を大切に、阿曾っ子としての連帯感やいたわりの心、思いやりの精神が培われる登山です。私たちもこの伝統行事を見守り、応援していきたいです。子どもたちにも、よい思い出として残ればと思います。

（阿曾地区市政モニター 富岡弘弘さん・西阿曾）

ワールドカップの日本代表に向けてアピール

輝いている人



原田さん（左） 岸本さん（右）

女子野球ワールドカップ日本代表候補に選ばれた

岸本麻里さん（福井）
原田のどかさん（泉）

8月24日から29日まで松山市で開催される女子野球ワールドカップの日本代表候補に選ばれたのが、岸本麻里さん（尚美学園大学2年）と原田のどかさん（岡山南高校2年）の2人だ。

2人は、3月に埼玉県で行われた代表候補のセレクションを突破した。日本は過去2大会とも準優勝した実績をもつチーム。今後、強化合宿を経て、ワールドカップ直前の8月に24人の代表候補から代表メンバーの18人が決定する。

2人は、5月に倉敷マスカットスタジアムで行なわれた強化合宿に参加。地元選手として、マスコミから注目を浴びるなか、練習に汗を流し、元気に代表入りアピールしていた。

代表入りに向けての意気込みを尋ねると、岸本さんは、「得意のスライダーをアピールし、代表に選ばれよう精一杯がんばりたい」。原田さんは「今が勝負のとき。足に自信がある。元気を前に出し、代表に入る」と、共に力強く話す目は前を向いていた。

8月24日から29日まで松山市で開催される女子野球ワールドカップの日本代表候補に選ばれたのが、岸本麻里さん（尚美学園大学2年）と原田のどかさん（岡山南高校2年）の2人だ。

2人は、3月に埼玉県で行われた代表候補のセレクションを突破した。日本は過去2大会とも準優勝した実績をもつチーム。今後、強化合宿を経て、ワールドカップ直前の8月に24人の代表候補から代表メンバーの18人が決定する。

2人は、5月に倉敷マスカットスタジアムで行なわれた強化合宿に参加。地元選手として、マスコミから注目を浴びるなか、練習に汗を流し、元気に代表入りアピールしていた。

代表入りに向けての意気込みを尋ねると、岸本さんは、「得意のスライダーをアピールし、代表に選ばれよう精一杯がんばりたい」。原田さんは「今が勝負のとき。足に自信がある。元気を前に出し、代表に入る」と、共に力強く話す目は前を向いていた。

↓点線に沿って切り取ってください。（官製ハガキでも可）

市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。

このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び
明るい家庭をぎずきましよう。
- 1 たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましよう。

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみじ
- ◎市の鳥/タンチョウ